

【重要課題：高齢者】

道徳科学習指導案

令和3年11月26日（金）第5校時
第1学年

人権教育としての授業研究の視点

相手の気持ちや立場を考えて行動しようとする態度を養うために、交流会に向けてお年寄りのために何ができるか、またその理由を考えたことは、高齢者など身近にいる人に、広く目を向け、温かい心で接し、親切にすることについて考えを深めることに有効であったか。

- 1 **主題名** あいてのきもちになって（内容項目 B（6）親切、思いやり）
教材名 「おとしよりと いっしょに」
（出典 「しょうがくどうとく ゆたかなこころ 1ねん」 光文書院）

2 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値

本主題は、学習指導要領のB（6）身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることをねらいとしている。自分のことばかりを考えたり、自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできない。互いが相手に対して思いやりの心をもって接するようにすることが不可欠である。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手によかれと思う気持ちを相手に向けることである。そのためには、相手の存在を受け入れ、相手のよさを見いだそうとする姿勢が求められる。指導に当たっては、幼い人や高齢者、友達など身近にいる人に広く目を向けて温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにすることが必要である。

他者に思いをよせることができる姿は、相手が喜ぶことをしたいと願う心から生まれていると考えられる。しかし、その一方で、発達的特質から自分中心の考え方をすることが多く、相手の気持ちについての想像が欠けていることがある。児童が身近にいる様々な人々とよりよい人間関係を築くためには相手のことや相手の気持ちを考え、優しく接することが大事である。また、相手のことを思いやりながら活動できるようになることは、相手が喜ぶだけでなく、自分にとっても嬉しいことだと思えるようにしたい。

（2）児童の実態

（削除）

（3）教材について

本教材は、地域のお年寄りを学校に招くことになったけんたさんたちが、どんなことをしたらお年寄りの皆さんに喜んでもらえるかをみんなで話し合う様子を取り上げたものである。さまざまな意見が出る中で、けんたさんたちが、みきさんの考えを聞いて、もっとよく考えてみることにしたのは、自分たちができることをしたいという考えが自分たちが中心であって、お年寄りの気持ちや立場を十分に考えているとはいえなかったことに気付いたからであろう。相手に思いをよせて考えようとするみきさんの姿から思いやりの心を考えることができるとともに、みきさんの話を聞いて、相手の気持ちや立場を考えて相手が喜ぶことをしたいと願い、改めて考えようとする子どもたちのよさも明らかにすることができる教材である。

登場人物のそれぞれの考え方を提示したうえで、どのような気持ちでその活動を選んだのかという理由についても考えさせることで、相手の立場を考えて行動することの大切さに気付かせたい。

3 指導方針

○事前指導として

- ・身近なお年寄りについて考えられるようにするために、敬老の日の前に「敬老の日」の話をし、お年寄りへの意識を高める。

○本時の学習として

- ・本時の内容と結び付くようにするために、普段の生活の中で、他者から感謝されて嬉しかった経

験を思い出させる。

- ・相手のお年寄りの立場に立って考えられるようにするために、相手を意識しながら自分たちには何ができるのか考えさせる。
- ・相手を喜ばせるためにはどのようにしたらよいのか考えさせるために、自分がしてあげるだけでなく、相手にしてもらったり、一緒に行ったりというさまざまな活動が考えられるようにする。
- ・お年寄りに対して何ができるのかを具体的に考えさせるために、交流会を設定し、相手を意識できるようにする。

○事後指導として

- ・本時の学習と日常生活を結び付けるために、お年寄りが喜ぶと思うことを実行し、帰りの会などで発表させる。
- ・実際に授業で学習したことを生かすために、生活科の授業でお年寄りとの交流会を行う。
- ・人権集会で発表される作文、標語、ポスターを通して、他の児童の考えや思いを知り、自分自身の考えを深めさせる。

4 人権教育とのかかわり

高齢者との交流において、高齢者から話を聞いたり、高齢者と共同作業したりすることを通して、豊かな経験をもつ高齢者に対する尊敬と感謝の心を育てることができる。しかし、現在の子どもたちは様々な家庭環境の中で、高齢者と接する機会が少なくなってきたため、高齢者と触れ合う機会も減ってきている。したがって、高齢化が著しい社会であるのにもかかわらず、児童にとって高齢者について理解したり、その立場や気持ちを考えたりする経験が少なくなっている。

現状の問題を解決するために、小学校低学年においては、幼い人や高齢者、友達など身近にいる人に広く目を向け、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにすることが必要である。その結果として、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れ、相手のことを考え、相手のためによいと思うことを実践していくことができるようになるであろう。

相手の気持ちや立場を考えて相手が喜ぶことをしようとする意欲や態度を養うために、お年寄りとの交流会に向けて、相手に喜んでもらえる活動を考える学習を設定した。ペアやグループで考えをまとめる中で、相手を意識した児童相互の交流も大切にしたいと考える。

5 本時の学習

(1) ねらい

人には相手が喜ぶことをしたいと願う心があることが分かり、相手の気持ちや立場を考えて相手が喜ぶことをしようとする意欲や態度を養う。

(2) 準備

<教師>教科書、さし絵、ホワイトボード、ネームプレート、ワークシート（振り返りカード）

<児童>教科書

(3) 人権教育の視点【育てたい態度・能力】

○知性：相手の気持ちや立場を考えようとする行為は、相手が喜ぶことをしたいと願う心から生まれることが分かる。

○実践力：相手の気持ちや立場を考えて、相手が喜ぶことをしようとする。

(4) 展開

過程	学習活動 主な発問 (□) 予想される児童の反応 (・)	時間	○指導上の留意点 【人権教育の視点】 (道徳的諸価値)
導入	1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。 ○普段、おじいちゃんおばあちゃんとどんなことをして遊んでいるかを書いたホワイトボードを掲示し、お年寄りに対しての意識を高める。 ・お泊まりをする。	5分	○ホワイトボードに書かれたさまざまな意見を見ながら、普段お年寄りとかかわることの少ない児童も、お年寄りとはどんな遊びをしたらよいのかという意識がもてるようにする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に買い物をする。 ・一緒に絵を描く。 ・おもちゃで遊ぶ。 ・テレビを見る。 ・ゲームをする。 ・一緒におしゃべりをする。 ・ドッチボールをする。 ・公園で遊ぶ。 ・こまで遊ぶ。 ・けん玉をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>交流会を楽しくするためには、どんなことに気を付けたらよいでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・何が大切なのかな。 ・お年寄りも一緒にできる遊びがいいかな。 ・敬老の日に肩たたきをしたら、喜んでもらえたよ。 ・運動は苦手かもしれないな。 ・一緒にお話をするのはどうかな。 <p>【問題意識】 お年寄りに喜んでもらうにはどうしたらよいのだろう。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【めあて】おとしよりに よろこんでもらうのに たいせつなことは なんだろう。</p> </div>	<p>○いろいろな遊びを取り上げ、お年寄りの方が上手な遊びもある等、お年寄りへのイメージが広げられるようにする。</p> <p>○お年寄りを大切にするとはどういうことかという問いをもたせる。</p> <p>○お年寄りに対する感謝の気持ちを思い起こさせるために、以前に話した「敬老の日」を思い出させる。</p> <p>○めあてを全員で読み、本時の学習のめあてが確認できるようにする。</p>
<p>展開</p>	<p>2 教科書の教材文の範読を聞く。</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お話の中で、お年寄りに楽しんでもらうために、どんなことをしたいと言っていましたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・招待状をつくってあげる。 ・歌を聞かせてあげる。 ・紙芝居を見せてあげる。 ・お年寄りの話をみんなで聞きたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうして、みきさんは首を、かしげていたのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りもしてもらえばかりじゃつまらないと思ったから。 ・けんたさんたちは、自分たちがやりたいことを言っているから。 ・けんたさんたちは、お年寄りはしてもらっただけになっているから。 	<p>30分</p> <p>○けんたさん、まゆみさん、あずささん、みきさんの挿絵を掲示し、それぞれの意見が視覚的にわかるようにする</p> <p>○自己有用感を高めさせるために、ネームプレートを使用する。</p> <p>○みきさんの考えは、相手の気持ちや立場を考えることから生まれていることを明らかにするために、けんたさんたちとみきさんの考え方の違いに気付かせる。</p> <p style="text-align: right;">(人間理解)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・みきさんは、お年寄りがやりたいことを考えているから。 ・けんたさんたちは、自分たちが主役になっているが、みきさんはお年寄りを主役にして考えているから。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうして、みんながもっとよく、考えてみることにしたのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りもずっと見てるだけじゃつまらないと思ったから。 ・お年寄りも一緒に遊べた方が楽しいから。 ・お年寄りの得意なことを教えてもらえたら、お年寄りも嬉しい気持ちになるから。 ・みんなで一緒に遊べたら、みんな楽しくなるから。 ・自分たちがやるだけじゃなくて、お年寄りにもやってもらったほうがいいから。 ・もっと楽しくしたいから。 ・お年寄りができることを考えたいから。 ・もっと親切にしたいから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お年寄りに喜んでもらえることを考えましょう。理由も考えましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの話を聞く。 【理由】お年寄りは、たくさん話を知っているから。 ・お年寄りの得意なことを教えてもらう。 【理由】自分の得意なことを見せるのは、楽しいから。 ・一緒に楽しめる遊びをする。 【理由】一緒に遊ぶと楽しいから。 ・昔遊びをする。 【理由】自分たちの知らない遊びを覚えてもらいたいから。 ・お年寄りの好きな歌と一緒に歌う。 【理由】お年寄りが知らない歌だと、お年寄りがつまらなくなるから。 ・一緒に絵を描く。 【理由】絵を描くのは、お年寄りも疲れないから。 ・一緒にサッカーをする。 【理由】サッカーが上手なお年寄りもいるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを明確にし、発表に自信をもたせるために、ペアで話し合った後に、学級全体で考えを共有する。 (価値理解) (他者理解) ○自分がしたこと、お年寄りに喜んでもらった経験を振り返りながら、考えるよう声をかける。 ○自分の考えを明確にするために、ワークシートを活用する。 ○なかなか自分の考えを言葉に表せない児童に対して、自分の意見をもてるように、机間支援を行う。 ○事前に児童から意見を聞いておいたお年寄りと遊ぶことについて、ホワイトボードに掲示しておき、活動の参考になるようにする。 ○自分たちだけでなく、お年寄りも楽しんでいるかという視点ももてるようにする。 ○交流会で、お年寄りが喜んでくれる活動を考えることを通して、身近なお年寄りとのかかわりの中で、自分も相手が喜ぶことをしたいと願う心があることを自覚させる。 【知性】 (価値理解) (他者理解)
---	---

14 おとしよりといっしょに

1ねん()くみ()ばん なまえ()

【こうりゅうかいで】

☆やってみたいこと

☆りゅう

どうとく ふりかえりカード

★じゅぎょうでわかったことや、めあてについてかんがえたことを、かきましょう。

<hr/> <hr/> <hr/>

★じゅぎょうをふりかえって

じぶんにおきかえて、かんがえることができた。	◎ ○ △
ともだちのかんがえに「いいな」「なるほど」とおもった。	◎ ○ △